

平成28年度

決算審査講評に対する対応調書

佐久広域連合

平成28年度決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況(関係課の対応)	関係課
1	介護認定、障害認定においては、判定件数も多い中ではあるが市町村と連携し公平、公正と適切かつ迅速な判定に努められたい。	介護認定及び障害認定の審査が公正かつ的確に行われるため、市町村の調査項目のバラツキを減少できるよう、要介護認定適正化事業の業務分析データを参考とし、国の適正化研修の結果を市町村認定調査員研修の場で伝達講習を行い、適正化を図るとともに迅速な審査会を運営するようにします。	事務局 福祉課
2	成年後見支援センター・障害者相談支援センター事業は、市町村と連携し制度定着に向け更なる周知を図られたい。	成年後見支援センター事業については、成年後見制度が住民に広く周知することで、必要な支援を結び付けられるよう、市町村で開催する「福祉のつどい」の場などを活用して普及啓発を図るとともに、定期的に広報誌による周知を行うことにします。	成年後見支援センター
		障害者相談支援センター事業については、障がい福祉サービスを必要とする者に対し、必要な支援を結び付けられるよう、市町村と連携を図りながら、広報誌などを活用して、幅広く、わかりやすく伝えることにします。 また、障害者相談支援センターと関係機関との連携強化を図り、地域全体での支援体制の構築を行うことにします。	障害者相談支援センター
3	中部横断自動車道は平成29年度に佐久穂町までが整備されるが、地域経済や観光振興にとって交通網の整備は重要な要素であることから佐久穂町以南の早期整備について積極的な働き掛けをされたい。	中部横断自動車道は、地域経済や観光の振興のみならず、災害や医療活動など、安全・安心面においても重要な道路であり、その効果は他の高速道路とネットワーク化されることで、最大限発揮されることから、関係機関と連携し、様々な場面において八千穂高原IC以南の早期整備の必要性を訴えかけてまいります。	事務局 庶務課
4	水槽付ポンプ車、高規格救急自動車や資機材の整備と災害対応訓練と研修が実施されており、今後も地域住民の安全で安心な取り組みに向け努められたい。	車両や資機材の更新・整備については、長期車両更新計画に基づき、使用頻度・走行距離・経過年数等を勘案するとともに、広域内で均一化を図るべく、配置換えを行いながら運用してまいります。災害対応においては、多種多様化する災害に対応できるよう年間訓練計画に沿った各種訓練及び研修を実施し、職員としての知識・技術の向上はもとより、もって組織全体としての更なる総合力(消防力・救助力・救急力)の強化を図り、今後も圏域住民の安全で安心な暮らしの確保に努めてまいります。	消防本部 消防署

平成28年度決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況(関係課の対応)	関係課
5	<p>社会福祉施設の運営では、「佐久広域連合社会福祉施設のあり方について」に基づき、「勝間園」「美ノ輪荘」の2施設は社会福祉法人への移管に向け移転用地が取得でき、移管時期も目途がついたが他の施設では経常経費の増加と介護報酬改定により基金を取り崩し財源補填しなければならない状況であり、稼働率の向上と経費節減にも限度があることから、早期の検討を望む。</p>	<p>佐久広域連合の社会福祉施設の設置・運営主体については、福祉サービスの主たる担い手とされている社会福祉法人等が望ましいとし、地域ごとの施設の役割を勘案して、移管できる環境が整った段階で、計画的に順次移管していくことを基本的な考え方としております。入所定員の見直し等により運営状況の改善を図りつつ、施設利用者をはじめ、所在市町村や住民の意向を十分に把握し、理解や協力を得られるよう、移管の時期や方法について検討を進めてまいります。</p>	<p>事務局 庶務課</p>
6	<p>食肉流通センター会計は厳しい状態にあるが、地域の畜産振興には欠くことのできない施設であることから、集荷等に努められたい。</p>	<p>平成28年度、豚流行性下痢(届出伝染病)の影響等により、豚換算で前年度比約2,000頭減少しました。平成29年度は、その影響がまだ残っており、処理頭数は回復しませんが、今後、主要荷受人のブランド豚の処理を、当センターにおいて実施することにより2,000頭の増頭を目指します。</p>	<p>食肉流通センター</p>